KDbarcode_QR

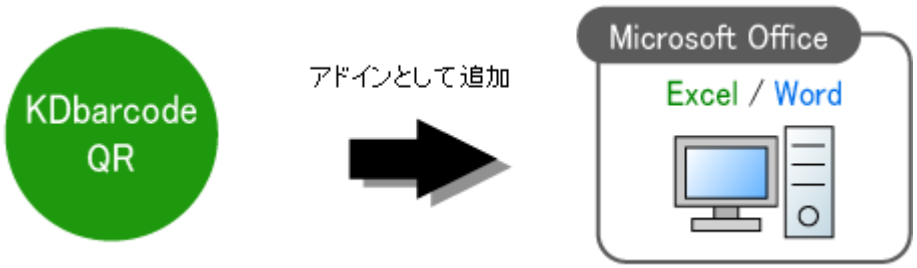
Microsoft WORD/EXCEL のアドイン製品

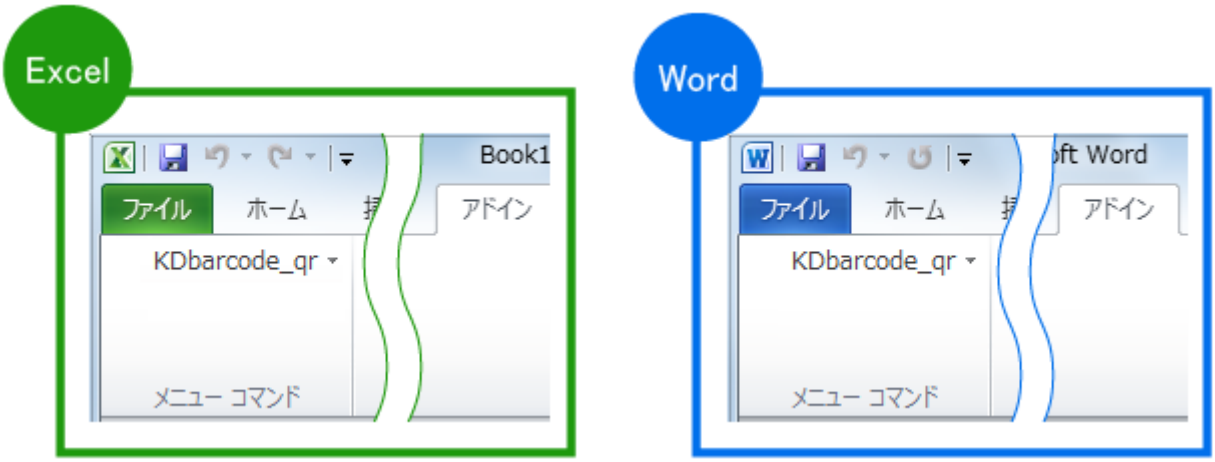
カーネルコンピュータシステム

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F
TEL：045-442-0500　FAX：045-442-0501
URL：https://www.kernelcomputer.co.jp

処理概要

KDbarcode_QR は Microsoft WORD/EXCEL のアドイン機能を使用してバーコード（QR_CODE、MICROQR_CODE、MICROQR_QR_CODE）をページまたはセルに貼り付けます。
バーコードデータは Microsoft WORD/EXCEL の任意の位置に記述されている文字列か選択したセルに記述されている文字列や設定ダイアログに記述されている文字列になります。
貼り付けられるバーコードはイメージデータとなっています。





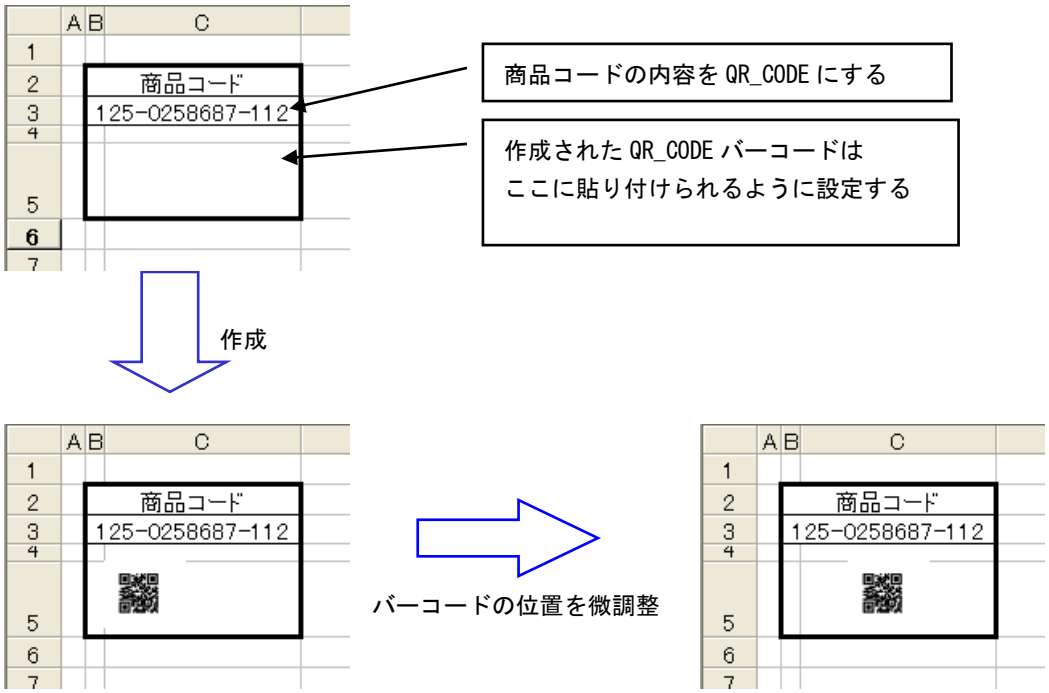
出力可能なバーコードの種類

各バーコードはそれぞれのバーコードの仕様に準拠します。

バーコードの種類	対応バーコードの名称	備考
QR_CODE	QR コード	モデル 2 のみサポート
MICROQR_CODE	マイクロ QR コード	M2～M4 をサポート
MICROQR_QR_CODE	QR コード/マイクロ QR コード	※

※ データ量がマイクロ QR コードの処理能力を超えた場合、自動的に QR コードで出力。

操作例 QR_CODE

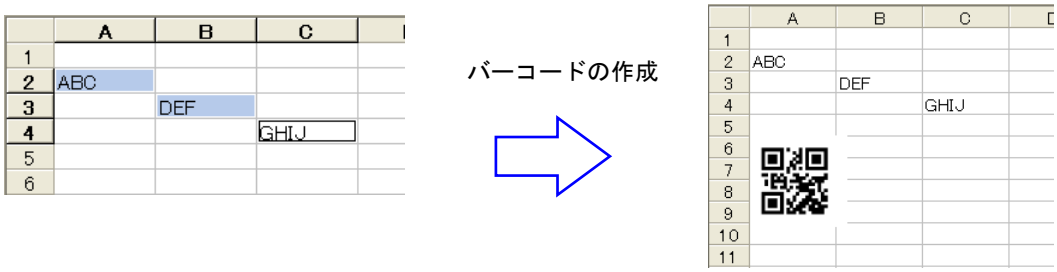


※バーコードはイメージで作成されていますので、作成されたバーコードを
クリックして移動させることによって位置の微調整ができます。

バーコード取得方法

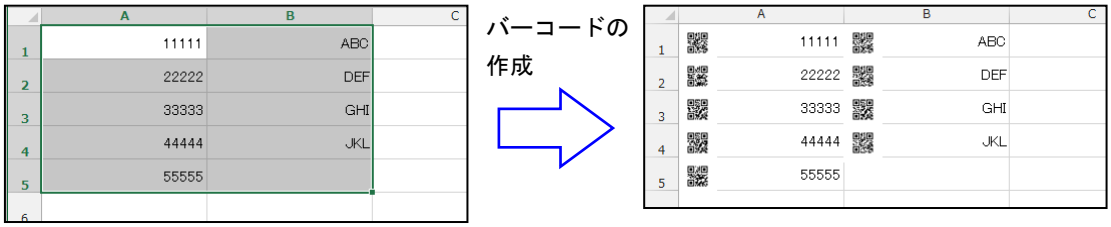
〈カーソルのあるセルから取得する〉

選択されているセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。
Ctrl キーを押しながらセルを選択することにより、複数のセルを選択することが可能です。
複数選択された場合は、選択されたセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。



〈カーソルのあるセルから取得する（まとめて）〉

選択されているセル範囲の文字列を１セルあたり１つのバーコードデータとして使用します。
※ 対応していない文字が含まれている場合や、空欄セルの場合はバーコードは作成されません。



〈指定セルから取得する〉

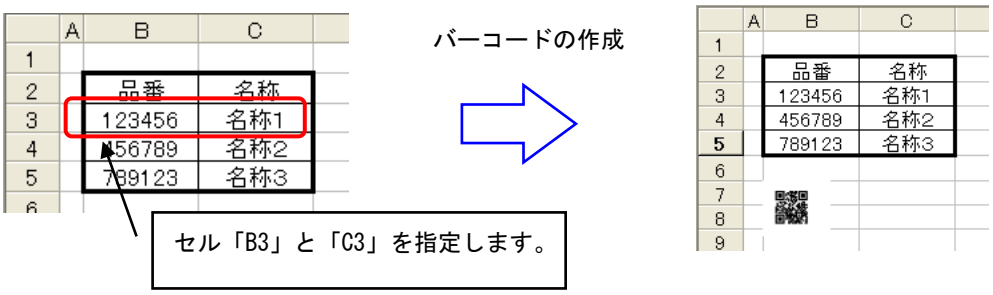
指定されたセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。

〈指定方法〉

入力は列行の英数字で指定して下さい。
例：列「B」、行「22」を指定する場合は「B22」と入力して下さい。

〈複数指定の場合〉

複数のセルを指定したい場合はカンマ[,]で区切って指定してください。
複数指定した場合は、指定したセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。
例：列「B」、行「10」と列「A」、行「21」を指定する場合は「B10,A21」と入力して下さい。

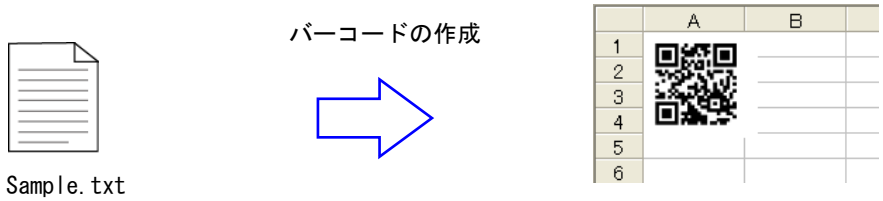


〈テキストファイルから取得する〉

指定するテキストファイルの内容はバイナリーデータや制御文字等が可能です。
テキストファイルを使用することにより、改行コードやバイナリーデータ等を扱えるようになります。

〈使用可能なバーコード〉

・QR_CODE　・MICROQR_CODE



〈プロパティ情報から取得する〉

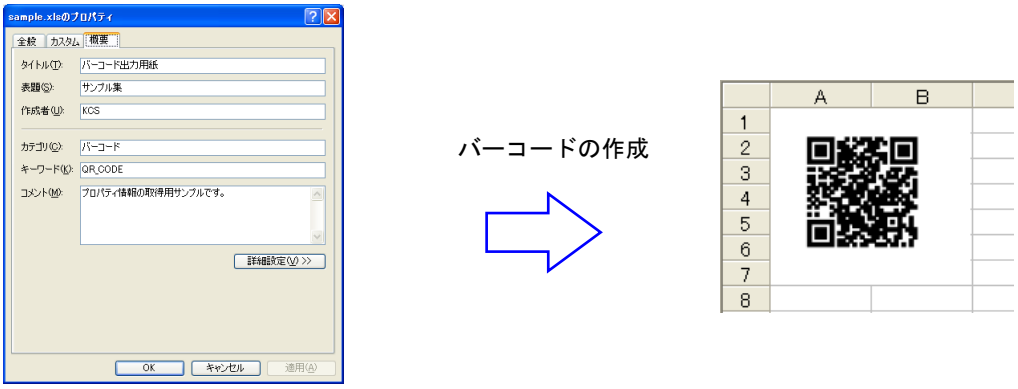
バーコード出力をおこなうファイルに設定されているプロパティ情報からデータを取得して、
バーコードを作成します。

〈使用可能なバーコード〉

・QR_CODE　・MICROQR_CODE

〈抽出可能なプロパティの項目〉

・タイトル　・表題　・作成者　・カテゴリ　・キーワード　・コメント



プロパティに登録されている情報

バーコードサンプル

・出力可能なバーコードの種類は次の通りです。

QR_CODE (MICROQR_CODE)

・バーコードデータはMicrosoft WORD/EXECLの任意の位置に記述されている文字列を指定します。
・EXCEL用の場合は複数のセルからデータを集めて、そのデータをバーコードにすることが可能です。
・バーコードの幅、高さ、最も細いバー幅を設定することでバーコードのサイズを調整することが可能です
・バーコードの向き（0度,90度,180度,270度）を指定することが可能です。
・バーコードの解像度を上げることによって精度を上げることが可能です。
・EXCEL用の場合は複数のシートを一度にまとめて処理することが可能です。
・貼り付けられたバーコードを別の場所に移動する場合に、再度バーコードを作成する必要がありません。
貼り付けられたバーコードをマウスでクリックしたまま移動することが可能です。
・QR_CODEは任意のファイルを指定し、そのファイルの内容をバーコードにすることが可能です。
ファイルの内容は問いませんが、指定したバーコードの種類で処理できる内容である必要があります。

注意事項

（１） バーコードのサイズが小さすぎると読み取れない場合があります。

（２） 印刷時には印刷プリンタの解像度、色の濃度により読み取れない場合があります。

（３） バーコードの種類が「QR_CODE」、「MICROQR_QR_CODE」の場合はデータの種類と誤り訂正レベルによって、最大文字数が決まります。
作成可能な QR コードの最大文字数は以下となります。

誤り訂正レベル	数字データ	英数字データ	８ビットデータ	漢字データ
L	7089	4296	2953	1817
M	5596	3391	2331	1435
Q	3993	2420	1663	1024
H	3057	1852	1273	784

※数値は文字数です。
※数字データは 0～9(30H～39H)のデータとなります。
※英数字データは A～Z(41H～5AH)、スペース(20H)、$(24H)、%(25H)、*(2AH)、+(2BH)、-(2DH)、.(2EH)、/(2FH)、:(3AH)のデータとなります。
※８ビットデータは 00H～FFH の中で 20H, 24H, 25H, 2AH, 2BH, 2DH～3AH を除くデータとなります。
※漢字データは S-JIS 漢字コードのデータとなります。(UNIX 版は EUC 文字コード)
　最大文字数を超えると「ERROR:illegal data」が表示されます。

※複数のセルを選択した場合は、選択したセルのデータを合計した文字数が対象となります。

（４） バーコードで使えない文字を指定した場合は「ERROR:illegal data 」が表示されます。

（５） QR_CODE の型番選択を指定した場合、バーコードデータが指定された型番に収まらない場合は「ERROR:Type No Small [n]」が表示されます。([n]の数字はバーコードデータが収まる最小型番を表しています。この型番以上の数値を設定して下さい)

対応 OS

・Windows 7
・Windows 8
・Windows 8.1
・Windows 10
・Windows 11
・Windows Server 2008
・Windows Server 2008 R2
・Windows Server 2012
・Windows Server 2012 R2
・Windows Server 2016
・Windows Server 2019
・Windows Server 2022
・Windows Server 2025

動作環境

Microsoft Office 対応バージョン
・Office XP
・Office 2003
・Office 2007
・Office 2010
・Office 2013
・Office 2016
・Office 2019
・Office 2021
・Office 2024
・Microsoft 365
※ バージョン 2013 以前は 32 ビット版のみ、2016 以降と 365 は 32/64 ビット版両方に対応

標準価格

KDbarcode_QR(バーコード作成)

ライセンス数	価格(税抜き)
1	3 万円
5	10 万円
10	20 万円
20	30 万円
30	40 万円
50	50 万円
100	80 万円